

シリーズ最高の写真画質を実現するグラフィックアート向け大判プリンター3機種を発売
200年の耐光性を実現した新開発の顔料インクによりプリントの長期保存が可能

キヤノンは、大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF（イメージプログラフ）」シリーズの新製品として、12色インクモデル「PRO-6600／4600／2600」の3機種を2024年4月25日に発売します。



PRO-4600
(オプションのロールユニット装着時)



ファインアートなどの価値向上に貢献
(画像は「PRO-2600」)



深みのある黒と暗部を豊かに表現
(画像は「PRO-6600」)

新製品は、写真やデジタルアート、絵画といったファインアートなどを制作するグラフィックアート市場向けの大判インクジェットプリンターです。新開発の顔料インク「LUCIA PRO II（ルシアプロツー）^{※1}」を搭載することで、芸術写真などに用いられるファインアート紙への印刷画質を向上させながら耐光性を強化して、imagePROGRAFシリーズ最高の写真画質とプリントの長期保存を実現します。

■ 表現力豊かな写真やファインアートを再現し200年の長期保存が可能

特色のレッドとブルーや、濃淡2種類のグレーを含む12色のインクを採用しています。光沢紙／半光沢紙への印刷画質を従来機種^{※2}から継承しつつ、ファインアート紙への印刷では、黒濃度の向上により、深みのある黒を再現するとともに、暗部の色再現領域が拡大し、imagePROGRAFシリーズ最高の写真画質を実現します。さらに200年の優れた耐光性^{※3}により、印刷した作品を高画質のまま長期保存することができるため、プリントの価値向上に貢献します。

■ 新開発のインクセンシングシステムによる安定稼働を実現

新開発のインクセンシングシステムにより、インク吐出状態を定期的にモニタリングすることが可能です。自動で最適なインクの着弾位置を保ち高画質を維持します。また、「スマートロール紙セット」機能は用紙の給紙や種類の検知、残量推計を自動で行うとともに、給紙処理を高速化することでロール紙セットにかかる時間を従来機種より約40%短縮します。これらにより、画質調整やロール紙セットに伴うダウンタイムを低減し、プリンターの安定稼働を実現します。

■ 発泡スチロールを用いた製品梱包材の大幅削減や「EPEAT」ゴールド取得など環境に配慮

発泡スチロールを用いた製品梱包材の使用を「PRO-4600」では従来機種より89.5%削減^{※4}しています。また、NPO団体GEC（Global Electronics Council）が電子機器製品を対象に、2006年に設立した国際的なエコラベル「EPEAT」において、新製品は米国で「EPEAT」ゴールド製品として登録されています。

※1. 11色に新開発顔料インクを使用。マットブラックは「imagePROGRAF GP-4000／2000」（2021年12月発売）と同じインクを使用。

※2. 「imagePROGRAF PRO-6100／4100／2100」（2020年4月発売）

※3. 光沢プロ [プラチナグレード]使用時。JEITA（社団法人 電子情報技術産業協会）発行のデジタルカラー写真プリント画像保存性評価方法（JEITA CP-3901B）の屋内耐光性試験方法および寿命判断基準に準じて算出した予測値。

※4. 従来機種より「PRO-2600」では100%、「PRO-6600」では58.9%削減。いずれも製品重量比。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
imagePROGRAF PRO-6600	198万5,000円	2024年4月25日
imagePROGRAF PRO-4600	76万7,800円	
imagePROGRAF PRO-2600	38万2,800円	

〈主な特長〉

1) 表現力豊かな写真やファインアートを再現し 200 年の長期保存が可能

- 新開発の顔料インク「LUCIA PRO II」を搭載。特色のレッドとブルーや濃淡 2 種類のグレーを含む 12 色インクを採用し、写真やファインアートなどを豊かに再現。
- ファインアート紙への印刷時、マットブラックインクが用紙の表面に高密度に留まることで黒濃度が向上。深みのある引き締まった黒を再現するとともに、暗部の色領域が拡大することで表現力豊かな作品をプリント可能。
- 光沢紙／半光沢紙への印刷時は、透明インク「クロマオプティマイザー」を使用することで、光沢均一性を一層向上させて光沢ムラや、反射光や照明光によって本来とは違った色味が付いて見えるブロンズ現象を抑制。黒や暗部で一段と高い色再現性を実現。
- 発色に優れながら光に分解されづらい色材を採用したことで、印刷したプリントは 200 年の優れた耐光性を実現し、高画質のまま長期保存が可能。



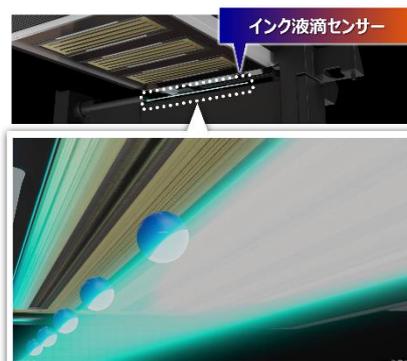
黒濃度が向上し表現力豊かな作品を印刷可能



作品に光が当たる状況でも長期保存が可能

2) 新開発のインクセンシングシステムによる安定稼働を実現

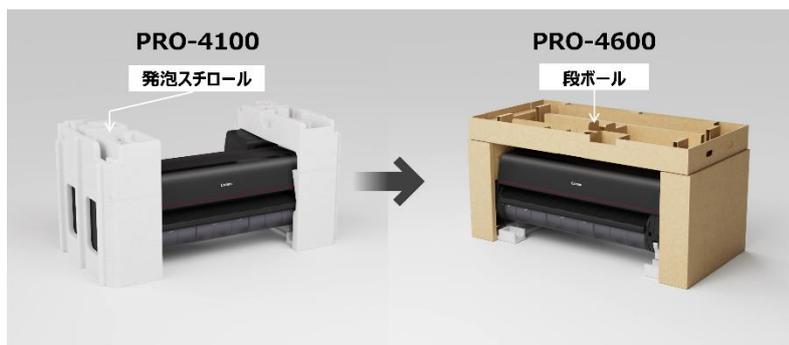
- 新開発のインクセンシングシステムは、インク吐出状態を定期的にモニタリングし、自動で最適なインクの着弾位置を保ち高画質を維持。
- ロール紙を本体給紙部に置くだけで用紙の給紙や種類の検知と残量推計を自動で行う「スマートロール紙セット」機能を搭載。給紙処理を高速化することで、従来機種に比べロール紙セットにかかる時間を約 40% 短縮。



インクセンシングシステムで吐出状態を定期的にモニタリング

3) 発泡スチロールを用いた製品梱包材の大幅削減や「EPEAT」ゴールド取得など環境に配慮

- 発泡スチロールを用いた製品梱包材の使用について、従来機種より“PRO-2600”では 100%、“PRO-4600”では 89.5%、“PRO-6600”では 58.9%削減し、緩衝材に段ボールを使用。
- 国際的なエコラベル「EPEAT」において、米国で「EPEAT」ゴールド製品として登録。



発泡スチロールを用いた製品梱包材の使用を削減し、段ボールに置き換え

4) 離れても交換インクが一目でわかる透明インクカバーなどで優れた使い勝手を実現

- インクタンクカバーに透過材を使用。カバーを閉めたまま、離れたところからでもインクランプの点灯・点滅が見え、交換するインクをひと目で確認可能。
- 操作パネルのタッチスクリーンに、プリンターが自動推計したロール紙残量を数値とともに5段階のインジケータで表示。ロール紙の残量や交換タイミングを容易に確認可能。
- 機内照明を搭載。トップカバーを閉めたまま印刷状況を確認可能。



優れた使い勝手を実現するデザイン

5) 「Professional Print & Layout」で高画質フォトの効率的な印刷を支援

- 無料の出力ソフトウェア「Professional Print & Layout」に対応。大きなプレビュー画面で色調整、ロール紙でのレイアウトや印刷結果の色味確認などが可能。
- キヤノンのデジタルカメラ向け現像ソフトウェア「Digital Photo Professional」や「Adobe Photoshop」などの画像編集ソフトウェアと連携し、プラグインソフトウェアとしても起動可能。
- 大判プリンターと通信し、取得した用紙情報をソフトウェアの用紙種設定に自動反映。印刷設定の操作を軽減。

〈大判インクジェットプリンターの市場動向〉

大判プリンターの2023年の市場規模は、世界で約20.3万台、国内で約1.9万台でした。写真やファインアートなどのグラフィックアート市場では、豊かな写真表現を可能にする画質に加え、プリントの長期保存を実現する耐光性や、画質調整や用紙セットにおける省力化などが求められています。こうした中、容易に長期保存が可能な高画質の大判写真を出力でき、安定的な稼働が可能なプリンターへの需要が増加すると予想されます。(キヤノン調べ)

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

* Adobe、Adobe Photoshop はそれぞれ、米国およびその他の国々における Adobe（アドビ社）の商標または登録商標です。

〈ご参考〉

製品名	対応サイズ
imagePROGRAF PRO-6600	60 インチ (紙幅約 1,524mm)
imagePROGRAF PRO-4600	44 インチ (B0 ノビ/紙幅約 1,118mm)
imagePROGRAF PRO-2600	24 インチ (A1 ノビ/紙幅約 610mm)